

平成 30 年度 山形県行政支出点検・行政改革推進委員会 第 1 回会議 委員の意見概要

◇ 日 時 平成 30 年 7 月 30 日（月） 15：00～17：00

◇ 会 場 県庁 502 会議室

◇ 出席委員

委員長 高橋和

委員 尾形律子、小口裕之、田中達彦、中鉢美佳、山上絵美

（欠席：清野洋輔、三木潤一）

〈五十音順、敬称略〉

■委員の主な意見等

議事（1）山形県行財政改革推進プランの取組状況について

議事（2）山形県財政の状況について

〈発言順〉

（尾形委員）

- 大変厳しい財政状況と感じたところだが、県有財産の有効活用による歳入見込みについて、中期展望では同じ金額が続いている。見直せるところはないか。

（小口委員）

- 県の職員数について 4 名減となっているが、新規事業もある中、ワーク・ライフ・バランスも進めているということで、両立は大丈夫か。

ま と め

（高橋和委員長）

- 今出た意見を踏まえて引き続き進めてほしい。

議事（3）「事務事業評価（事業レベルの PDCA）」について

◆環境エネルギー部「エネルギー戦略加速化推進事業費」について

（中鉢委員）

- 内陸地方でも風力発電を増やしていける場所はどの程度あるのか。
- 洋上風力発電は、懸念される部分もあるかと思うが、積極的に進めていきたい。

（小口委員）

- 中小水力発電について、街灯などの小さな電力に使うようなものも含め、山形の自然環境を活用して進められればよい。
- 木質バイオマス発電について、放射線が発生する心配があるので、気を付けていただきたい。

（山上委員）

- 妥当性の評価について、A 評価となっているが、どのようにニーズ調査をしているのか。
- 山を切り開いて太陽光発電事業を行おうとする海外の事業者も来ているため、景観を含めて、今後どうなるか心配な面もある。

◆環境エネルギー部「やまがたの山と水魅力向上推進事業費」について

(中鉢委員)

- 百名山マップについて、車の中で広げることを思うと、マップが大きすぎるという印象がある。また、名水のパンフレットは若者にも興味を持ってもらえるものにしても良いのではないか。

(山上委員)

- 山を登る方の中には、山菜を勝手に採るなど、マナーが悪い方もいるため、マナー向上についてもお願いしたい。

(小口委員)

- ランチパスポートのように、登山好きな方が楽しみながら周れるような仕組みがあるといいのではないか。
- 山や水には地域に言い伝えが残っていることがあるので、パンフレットにこういう情報も入れると、より関心が高まるのではないか。

◆子育て推進部「地域で支える子育て安心事業費」について

(尾形委員)

- 孫育て交流サロンの設置市町村数について、目標に対する達成率が84%ということだが、設置するだけではなく、利用者が増えるよう頑張ってもらいたい。

(小口委員)

- 放課後児童クラブに通うお子さんも増えており、市町村と連携して利用者の声を拾って、引き続き検討を加えながら進めていただきたい。

(高橋委員長)

- 多子世帯に対する利用料軽減の実施市町村について、見込みを超えていても活動実績がB評価となっているのはなぜか。

◆子育て推進部「妊娠・出産・子育て安心生活応援事業費」について

(中鉢委員)

- 事業を実施した市町村の数について、25市町村のみとなっているがなぜか。

◆事務事業評価全体について

(田中委員)

- 事務事業のPDCAを行うに当たって、この委員会は各部局が行う内部評価に対し、外部からチェックする立ち位置になるかと思うので、内部評価の結果がなぜこのような評価になったのか、ということを知ることが、委員会の趣旨に沿うのではないか。

ま と め

(高橋和委員長)

- 各事業について、本日の意見を参考にしながら、進めていただきたい。
- 事務事業評価を今後どのように進めていくかについては、次回以降考えていきたい。

以上